

工事期間中の避難施設について

2022年度に東京都が東京都地域防災計画を修正し、都内の避難者数推計の見直しがありました。東京都での見直しを受け、町田市においても、2023年度に市内の避難者数推計の見直しを行い、その結果をもとに、2029年度から2032年度の工事期間中における鶴川第二小学校に代わる避難施設の検討を行っておりますので、進捗状況をご報告します。

(1) 鶴川東地区の避難施設別避難者数推計の実施について

町田市全体及び鶴川東地区の避難者推計の見直しの結果は、以下のとおりです。

施設名	旧避難者推計 (人)	新避難者推計 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
町田市全体	52,939	38,941	▲13,998	▲26%
鶴川第二小学校	874	699	▲175	▲20%
鶴川第三小学校	1,608	444	▲1,164	▲72%
鶴川第二中学校	1,042	567	▲475	▲46%
鶴川中央小学校 (旧鶴川第四小学校)	1,006	374	▲632	▲63%
鶴川東地区 計	4,530	2,084	▲2,446	▲54%

※新避難者推計は、町田市地域防災計画（2023年度修正）に記載のもの

(2) 工事期間中の避難施設について

(1)の避難者数の推計結果を受け、2029年度から2032年度の鶴川第二小学校に代わる避難施設は「鶴川第三小学校」「鶴川第二中学校」、「鶴川中央小学校」への避難を想定しています。

上記避難の考え方については、現在、自主防災組織と調整を進めており、「鶴川第二小学校により近い避難施設を確保してほしい」というご意見をいただいております。

そのため、上記3校以外の避難施設についても、鶴川地区の中規模集会施設、民間施設のグラウンド等と災害時の活用に向け、引き続き調整を行っていきます。

2024年10月に予定している避難施設関係者連絡会において、鶴川第二小学校を避難先とする自主防災組織と、新校舎建設期間中の新たな避難先の候補案の確定に向け検討します。

これらを踏まえた新たな避難先の周知については、鶴川第二小学校を避難先とする地域住民に対して、上記連絡会及び訓練の場で行っていくとともに、地域や保護者等に対しても「まちだの新たな学校づくり通信」等で図っていきます。

2033年度以降の鶴川第二小学校の代替の避難施設につきましては、現在の鶴川第二小学校地に完成する新たな学校を避難施設として利用することで、適切な避難施設配置を維持します。

(3) 備蓄物資の移動について

現在、鶴川第二小学校にある備蓄物資につきましては、分散備蓄※の考え方に基づき、2029年度の避難施設の移行後、速やかに移動します。

※分散備蓄…地域防災拠点や指定避難所等に分散して備蓄すること

(4) 2024年度のスケジュールについて

2024年10月以降 避難施設関係者連絡会にて、新たな避難施設を決定・周知

※避難施設関係者連絡会が終了以降、「まちだの新たな学校づくり通信」等で新たな避難先の周知を行っていきます。